

# 紋甲イカ 花湯霜

冬

当イカを含む甲イカ類は、筒イカ類「ケンサキイカ（あかいが）・ヤリイカ・スルメイカ・アオリイカなど」と比較して身が柔らかい特徴がある。それでも、外側の皮を剥いた後に残る内側の皮が硬く、それが1層でないところが甲イカ類・筒イカ類共通の「噛み辛い・歯切れが悪い」の主たる要因となる。また、胴を上、足を下にした方向を縦として胴

## カミナリイカ 雷鳥賊(紋甲イカ)



の横方向に（正確な表現不詳だが）筋肉の繊維が走っていることも「噛み辛い・歯切れが悪い」の要因の一つに挙げられるが、当甲イカ類は、筒イカ類と比較してその繊維の強さが比較的弱く、それが冒頭述べた「身が柔らかい特徴」に通じる。

近年、自分自身の歯が弱ってきたこともあって、画像の様な包丁仕事が必要となってきた。その仕事の効果があって、とても噛みやすくなった。→本来持ちえたイカの味を捕捉しやすくなった。→それぞれのイカの特徴がより理解できるようになった。→次に出会える機会がどの種でも楽しみとなった。の好循環。「噛みやすさ」の有難さを身に沁みて感じる次第である。また、ほんの数秒湯霜（湯引）にすることで甘味・旨味が増すことも分かった。どうやらここが着地点のような気がするが、更なる上があるかもしれない。